

# 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月7日

上場会社名 北川工業株式会社  
 コード番号 6896 URL <http://www.kitagawa-ind.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

(氏名) 北川 弘二  
 (氏名) 大田 英治  
 配当支払開始予定日

TEL 052-261-5528  
 平成20年12月10日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	8,031	—	1,397	—	1,655	—	1,083	—
20年3月期第2四半期	8,112	0.4	1,708	△11.4	1,831	△13.2	1,007	△29.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	85.84	—
20年3月期第2四半期	79.21	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	33,396	—	29,205	87.5	—	—	2,314.91	—
20年3月期	32,427	—	28,205	87.0	—	—	2,229.48	—

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 29,205百万円 20年3月期 28,205百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	8.50	—	11.50	20.00
21年3月期	—	10.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,260	△3.8	2,230	△27.4	2,600	△18.3	1,700	△7.6	134.64

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名) ) 除外 — 社(社名) )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 (注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 13,079,525株 20年3月期 13,079,525株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 463,265株 20年3月期 428,414株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 12,626,191株 20年3月期第2四半期 12,724,463株

### ※業績予想の適切な利用に関する説明

業績予想等は、現時点で入手可能な情報および合理的と判断した前提に基づいて作成しておりますが、将来の予測でありリスクや不確定要素を含んでおります。したがって、実際の業績は業況の変化など、経済情勢の変動等に関わるリスクや不確実性により予想と大きくかけ離れた結果となる可能性があります。

(参考) 平成21年3月期の個別業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	11,370	△5.4	1,170	△29.0	1,420	△17.2	840	16.5	66 53

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は米国の金融不安に端を発した、米国、欧州の実体経済の急減速により世界的な景気後退の可能性が強まってまいりました。

日本におきましても世界経済の混迷に加え、長引く原油をはじめとする原材料価格の高騰や個人消費の停滞により企業を取り巻く収益環境は厳しさを増してまいりました。

当社グループを取り巻く電機・情報・通信機器業界におきましては、世界的な景気後退にともなう市場収縮により企業間のグローバル競争は更に激しさを増し電機業界各社の事業再編が加速するなど経営環境は一段と厳しさを増してまいりました。

このような経済情勢の中で、当社グループは開発、生産、販売の内外での連携体制の強化に努め、主力市場である電機・情報・通信機器業界でのユーザー深耕に加え、自動車、住設、工作機械など内需関連市場の開拓に引き続き注力してまいりました。

これらの結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は80億3千1百万円、営業利益は13億9千7百万円、経常利益は16億5千5百万円、四半期純利益は10億8千3百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9億6千9百万円増加し333億9千6百万円となりました。これは主に現金及び預金が10億1千8百万円増加したことによるものです。負債は3千万円減少し41億9千万円となりました。純資産は10億円増加し292億5百万円となりました。これは主に利益剰余金9億3千8百万円の増加によるものです。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済の見通しにつきましては、世界的な金融不安による国内・世界経済の減速、株式市場や為替市場の急激な変動、資源価格の変動等、当社グループを取り巻く経営環境は不透明感が日増しに強まっております。

このような状況を踏まえ、通期の連結業績予想につきましては、売上高152億6千万円、営業利益22億3千万円、経常利益26億円、当期純利益17億円に修正しております。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ① 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として、定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

## ② 一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

## ③ 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

## ④ 税金費用ならびに繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度以降に経営環境等および一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続・表示方法等の変更

- ① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

なお、当第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)および当第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

- ② 重要な資産の評価基準および評価方法の変更

たな卸資産

通常の販売目的で所有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これにより、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益は5百万円減少しております。

- ③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これによる損益への影響は軽微であります。

## 5. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(百万円未満切捨て)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日現在)	前連結会計年度末に係 る要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,286	12,268
受取手形及び売掛金	4,630	4,561
有価証券	3,473	3,682
商品及び製品	557	585
仕掛品	186	179
原材料及び貯蔵品	117	139
その他	613	548
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	22,860	21,961
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,023	4,021
その他	3,819	3,957
有形固定資産合計	7,843	7,979
無形固定資産		
379		292
投資その他の資産		
投資有価証券	733	677
長期預金	500	500
その他	1,149	1,138
貸倒引当金	△70	△121
投資その他の資産合計	2,312	2,194
固定資産合計	10,535	10,465
資産合計	33,396	32,427
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,160	2,224
未払法人税等	608	474
賞与引当金	248	244
その他	436	532
流動負債合計	3,452	3,475
固定負債		
退職給付引当金	437	426
役員退職慰労引当金	296	316
その他	3	3
固定負債合計	737	746
負債合計	4,190	4,221

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日現在)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日現在)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,770	2,770
資本剰余金	3,915	3,915
利益剰余金	23,600	22,662
自己株式	△756	△707
株主資本合計	29,529	28,640
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	119	146
為替換算調整勘定	△443	△581
評価・換算差額等合計	△323	△434
純資産合計	29,205	28,205
負債純資産合計	33,396	32,427

## (2) 四半期連結損益計算書

(百万円未満切捨て)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	8,031
売上原価	4,113
売上総利益	3,918
販売費及び一般管理費	2,521
営業利益	1,397
営業外収益	
受取利息	99
受取配当金	4
助成金収入	102
その他	59
営業外収益計	267
営業外費用	
支払利息	0
売上割引	2
その他	5
営業外費用計	8
経常利益	1,655
特別利益	
固定資産売却益	0
貸倒引当金戻入額	6
特別利益計	6
特別損失	
固定資産売却損	1
固定資産除却損	2
特別損失計	3
税金等調整前四半期純利益	1,658
法人税等	575
四半期純利益	1,083

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【参考】前第2四半期連結累計期間に係る連結財務諸表等  
(要約) 中間連結損益計算書

(百万円未満切捨て)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
売上高	8,112
売上原価	3,940
売上総利益	4,172
販売費及び一般管理費	2,464
営業利益	1,708
営業外収益	197
営業外費用	74
経常利益	1,831
特別利益	3
特別損失	17
税金等調整前四半期純利益	1,817
税金費用	809
四半期純利益	1,007

以 上